

長鋒にこだわる（ ）

兎 玉 元 治

Choho : A Royal Road to Learning Calligraphy ()

Genji KODAMA

書いている最中に「筆の先端をハサミで切ったら血がほとぼしるようではなければならない」ということを聞いたことがある。体と筆が一体化し、紙の上を自由闊達に動き回ることである。この一体化した感覚をつかむまで練習せよという意味にとらえる。

筆はほとんど生き物の毛で作っている。だから抑えつければ元に戻ろうとする弾力がある。硬い筆は反応がすぐかえてくるし、軟らかい筆は反応がやや遅くなる。筆の毛の種類、墨の濃度、紙の質によって微妙に違う。要はその筆のバネを使いこなせば抑揚のある字が書ける。

特に、長鋒はそのバネの部分が長いので使いこなすのが困難と思われるが筆の先端まで血液が流れていることを感じとりたい。

薦 寿 (136×70)



第26回 安芸全国書展出品作
(平成20年6月8日~29日)

筆筒：390mm 穂先：140mm
筆径：20mm 毛：黒天尾

稽 古 (136×70)



第18回 大分の書を求める豊墨会展出品作
(平成20年6月10日~15日)



筒：310mm 穂先：123mm
筆径：17mm 毛：豊後猪毫筆 超特大

漢曹全碑 (272×17)



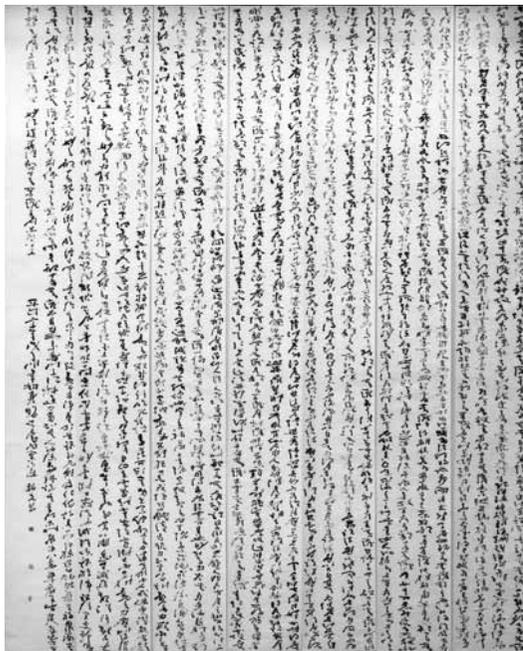
先意承志。存亡之敬。

第18回 大分の書を求める豊墨会展出品作
(平成20年6月10日～15日)



たわしT-5 毛：コイアファイバー
T130mm×Y60mm

観音経 (470×343)

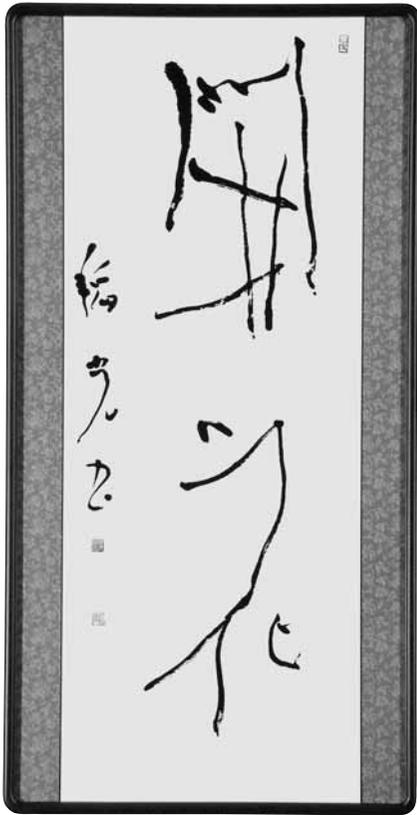


大分の書を求める豊墨会展出品作
(平成20年6月10日～15日)



筆筒：255mm 穂先：65mm
筆径：7mm 毛：豊後猪毫筆 中

開 花 (90×35)



第8回 牧泰濤書作品展出品作(祝書)
(平成20年6月18日~20日)



筆筒：255mm 穂先：65mm
筆径：7mm 毛：豊後猪毫筆 中

冶 春 蘇東坡 (35×68)

梨花淡白柳深青
惆悵東欄一株雪
柳絮飛時花滿城
人生看得幾清明



毎日現代書巡回展出品作
(平成20年7月15日~21日)



筆筒：250mm 穂先：65mm
筆径：7mm 毛：純猪毫 小

勝負 (35.5×24)

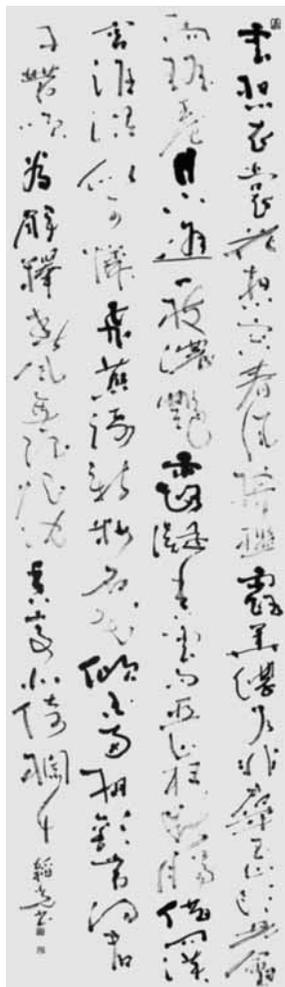


書道芸術院第13回九州支局展出品作
(平成20年9月17日～21日)



筆筒：226mm 穂先：60mm
筆径：7mm 毛：豊後猪毫筆 小

李太白清平調三首 (182×61)



書道芸術院秋季展出品作
(平成20年9月30日～10月5日)



筆筒：285mm 穂先：90mm
筆径：8mm 毛：羊毛

雲想衣裳花想容。春風扶檻露華濃。
若非群玉山頭見。會向瑤台月下逢。
一枝濃艷露凝香。雲雨巫山枉斷腸。
借問漢宮誰得似。可憐飛燕倚新妝。
名花傾國兩相歡。常得君王帶笑看。
解
積春風無限恨。沈香亭北倚欄干。

李太白清平調一首 (227×53)



雲想衣裳花想容。春風扶檻露華濃。若非群玉山頭見。會向瑤台月下逢。

第44回 大分県美術展・書道展出品作
(平成20年10月15日～19日)



筆筒：400mm 穂先：150mm
筆径：10mm 毛：先透黒天尾毫

拈華微笑 (33.5×24)



大分県芸術文化振興会議
文化キャラバン書道展出品作
(平成20年10月31日～11月2日)



筆筒：262mm 穂先：77mm
筆径：13mm 毛：純猪毫 大

笑門来福 (33.5×24)

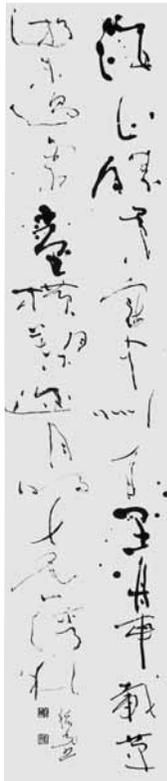


県内作家秀作展 (竹田祭) 出品作
(平成20年11月1日～4日)



筆筒：262mm 穂先：77mm
筆径：13mm 毛：純猪毫 大

越中憶吉 (土屋竹雨の詩) (227×53)



海山勝景冠中州百里舟車載筆遊
未過霜台横嶼迹月明七尾一湾秋

大分県書道教育研究協議会
発足60周年記念書道展出品作
(平成20年12月4日～7日)



筆筒：300mm 穂先：180mm
筆径：11mm 毛：白天尾